



# 学校だより

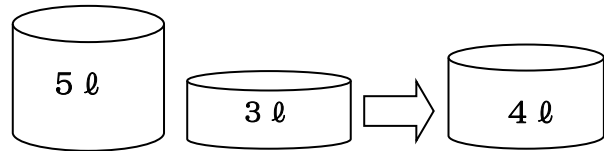
学校ホームページ：[横浜市立大道小学校](#)

8. 9月号  
横浜市立大道小学校  
平成29年8月28日

検索

校長 富岡 正雄

5リットル入る容器が1個、3リットル入る容器が1個ある。水はいくらでも使えるものとして、2つの容器を使って、正確に4リットルの水の量をはかるにはどうすればいいか。



この問題は、学校で出されたものではなく、モバイルファースト&クラウドファーストの世界におけるリーディングカンパニーのM社の創業者B氏が出した入社試験問題です。(解答例は、下に掲載) その意図は、入社試験を受けに来た人が持っている「知識・技能を基にしたいろいろな考え方を駆使して粘り強く考える力」を試しているのだそうです。

## グリット【やり抜く力】

自分の成果として結果を出すためには、「才能・知識・努力」が必要であるとよく言われます。この3要素に加えるべきものとして、Grit (グリット) が注目されています。

Grit (グリット) を直訳すると・・・「(困難にあってもくじけない)勇気、気概、闘志」。物事に対する情熱であり、また何かの目的を達成するためにとてつもなく長い時間、継続的に粘り強く努力することによって、物事を最後までやり遂げる力のこと。

学校生活の中でも、頑張って挑戦したり、努力したりしていても、なかなか結果が出てこないことがあります。そういう時、

- ・もう少し長く努力を続けてみる。
  - ・やり方を工夫して、続けてみる。
  - ・結果が出るまで、やっていこうという気持ちで続けてみる。
- 等、途中であきらめずに取組を継続していくことが大切ですが、難しいです。では、子どもたちの周りにはいる私たちは、どんなことに気を付けて支援すれば良いのでしょうか？

## 【やり抜く力】を伸ばすには

- ・「現在持っている力」よりも「これから獲得する力」を褒める。
- ・「頭の良さ」ではなく、「努力していること」「やり抜こうとする気持ち」を褒める。

「結果ではなく、プロセスや取り組んでいる前向きな気持ち」「あきらめないで努力している様子や態度」を褒めていくことが大切であると改めて感じています。長い夏休みの「経験・体験・取組」を生かして、今日からの学校生活を頑張る子どもたちに、【Grit (グリット)】を意識した支援をしていきましょう。よろしくお願いいたします。

<参考資料> アンジェラ・ダックスワース著 ダイアモンド社

「やり抜く力 GRIT(グリット)ー人生のあらゆる成功を決める「究極の能力」を身につける」

<上記問題の解答例 (複数回答があると思います。) ここでは、1例を紹介します。>

- ① 5ℓの容器に水を一杯入れ、3ℓの容器に移す。5ℓの容器 (2ℓ) ・ 3ℓの容器 (3ℓ)。
  - ② 3ℓの容器の水を捨て、5ℓにある2ℓを3ℓの容器に移す。5ℓの容器 (0ℓ) ・ 3ℓの容器 (2ℓ)。
  - ③ 5ℓの容器に一杯水を入れ、3ℓの容器に入るだけ入れる。5ℓの容器 (4ℓ) ・ 3ℓの容器 (3ℓ)。
- これで、5ℓの容器に、正確に4ℓの水が量れたこととなります (終了)。